

施公共設マネジメント推進委員会（第5回） 会議結果

日 時 平成29年 3月22日（水）

場 所 市役所 3階 議場（多目的ホール）

○出席者

委員長 南 学
委 員 谷口 元
委 員 松山 明
委 員 児玉 善郎
委 員 神谷 坂敏

○事務局職員

総務部長 内田 徹
行政 GL 山本 時雄
主 幹 杉浦 嘉彦
主 事 大八木 優希

○議題

1. 高浜小学校等整備事業の進捗状況について

資料1に基づき事務局より説明

主な意見

- 複合化する以上、施設間が相互利用できるような運用方法を考えていかなければならない。施設を集めるだけでは本当の意味での複合化とはいえない。
- 公共施設の観点から、サブアリーナなどの施設が特定の利用者に独占されることがないように、この機会に運営について検討していく必要がある。
- 今後他の小学校の複合化を行う際に施設を最大限活用できるように、本事業における事業手法や管理区分をしっかりと検討し、モデルとなるようにしてほしい。

2. 勤労青少年ホーム跡地活用事業の進捗状況について

資料2に基づき事務局より説明

主な意見

- 現状の利用環境を維持する必要があるなら、公共部分としての利用と民間のサービスについて、料金や利用時間を区分する方法もある。
- 障がい者でも利用しやすいように工夫をするなど、ハード対応とソフト対応両面で検討してほしい。
- 地域に根ざしたスポーツの活動拠点として施設の整備を進めてほしい。

3. 公共施設総合管理計画の見直しについて

資料3に基づき事務局より説明

主な意見

- 大事な視点は、市民へのサービス水準を下げないで施設のスリム化を図ることである。今まではハードの部分ばかりに目が行きがちですが、今後は公共施設のソフト化というのがキーワードになっていく。
- 高齢者の孤立化を防ぐ、子育てを行っている保護者同士が集まれるなど、地域のコミュニティができる公共施設を増やしていく必要がある。現在たまり場として公共施設を利用している人が少ない。